

キリストの有機的なからだの内在的な建造 (2)

エペソ人への手紙におけるキリストのからだの啓示と建造

聖書：エペソ 1:17, 2:10, 15, 3:16-19, 4:3-6, 11-16, 5:2, 8-9, 26-27, 6:10-13, 17-18

- I. エペソ人への手紙の各章は特別な観点から、三一の神の有機体であるキリストのからだの奥義を明らかにしています。わたしたちは、知恵と啓示の霊を求めて祈らなければなりません。それはわたしたちが、キリストのからだに聖書の最高の啓示であることを見るためです——エペソ 1:17-23, 3:3-5, 9-11。
- II. エペソ第 1 章が啓示しているのは、キリストのからだに、手順を経た三一の分与と超越したキリストの伝達との結果であるということです：
- A. 御父が選ぶこととあらかじめ定めることの中での御父の分与は、彼の多くの子たちを生み出し、聖別の中で彼の家とならせます——エペソ 1:3-6。
 - B. 御子が贖うことと救うことの中での御子の分与は、信者たちを生み出し、造り変えの中で神の嗣業とならせます——エペソ 1:7-12。
 - C. その霊が証印を押すことと担保を入れることの中でのその霊の分与は、神が信者たちの嗣業となることを担保し、彼らを成就へともたらしめます——エペソ 1:13-14。
 - D. 超越したキリストが復活することと昇天することの中での伝達は、彼の表現である彼のからだを生み出し、信者たちを究極的完成へともたらしめます——エペソ 1:19-23。
- III. エペソ第 2 章が啓示しているのは、キリストのからだに新しい人であり、三一の神の傑作であるということです——エペソ 2:10, 15-16：
- A. 一人の新しい人としてキリストのからだは、キリストご自身の中で彼の死と復活を通して創造された神の傑作、神の詩であり、神の無限の知恵と神聖な設計を表現します——エペソ 2:10, 15。
 - B. キリストは十字架上で、数々の規定から成っている戒めの律法、すなわち、人類を分裂させる生活や礼拝の形式や方法すべてを、彼の肉体の中で廃棄することによって、彼ご自身の中で、新しい人を創造しました——エペソ 2:14-15。
 - C. この世の人は、文化的な違いが名声の源であると考えます。しかし、一人の新しい人であるキリストのからだの中で、わたしたちはこの名声を失いました。今や、わたしたちの唯一の名声は、キリストと真の一です——コロサイ 1:18 後半, エペソ 4:3-4 前半。
 - D. 一人の新しい人の中には、ただひとりのパーソン、すなわち、すべてを含むキリストがおられるだけです。この一人の新しい人は、一つの口を持っており、一つ思いで同じ事を語ります——エペソ 2:15, ローマ 15:6, I コリント 1:10。
- IV. エペソ第 3 章が啓示しているのは、キリストのからだに三一の神の豊満であり、それは、わたしたちがキリストの豊富を供給されることによってであり、またキリストがわたしたちの心の中に自身のホームを造ることによってであるということです：
- A. 神は一つのエコノミーを持っており、キリストの計り知れない豊富をわたしたちの存在の中へと分配して、わたしたちを彼の豊満、彼の表現とならせます——エペソ

3:2, 7-9, 19。

B. パウロが源である御父へと祈ったことは、御父が手段としてのその霊を通して、わたしたちを内なる人の中へと増強してくださり、御子キリストが動き、働いて、わたしたちの心の中にご自身のホームを造り、その結果、わたしたちがキリストのからだとなり、三一の神の豊満となるということです——エペソ 3:14-19。

C. 毎日わたしたちは祈って、わたしたちの内なる人の中へと増強される必要があります。それは、三一の神が彼の唯一の働きを完成して、彼ご自身をキリストの中でわたしたちの心の中へと建造し込み、彼がわたしたちの内在的な構成となり、神と人との相互の住まいとならせるためです——エペソ 3:16-17. ヨハネ 14:23。

V. エペソ第 4 章が啓示しているのは、キリストのからだは、手順を経た三一の神と再生された信者たちとのミングリングであるということと、この一つからだが一つの務めによって建造されるということです：

A. 一つ霊、一つ主、一つ神また父は、信者たちとミングリングされて、一つの実体となっており、キリストの有機的なからだとなります——エペソ 4:4-6。

B. キリストのからだの一は、その霊の一であり、その霊の一は、わたしたちの霊の中におられるその霊ご自身です。わたしたちは一を保つために、わたしたちのミングリングされた霊の中にとどまらなければなりません——エペソ 4:3-4. ヨハネ 4:24。

C. キリストのからだは、一つの務めによって建造されます。この一つの務めは、わたしたちを成就して、すべての事で、かしらであるキリストの中へと成長し込ませ、また彼から出て来る機能を持たせ、からだに供給して、からだは愛の中でそれ自身を建て上げるに至るようにします——エペソ 4:11-16。

VI. エペソ第 5 章が啓示しているのは、キリストのからだは光の子供たちから成っており、キリストの花嫁となり、キリストを満足させるということです：

A. わたしたちはかつては暗かっただけでなく、暗やみそのものでした。なぜなら、わたしたちはサタンと一であったからです。今や、わたしたちは光の子供たちであるだけでなく、光そのものです。なぜなら、わたしたちは主の中で神と一であるからです——エペソ 5:8. マタイ 5:14。

B. 燭台が表徴しているのは、三一の神の複製としての召会が、生きた金の木であり、復活の命をもって開花して、輝く光、すなわち、光の実となって、三一の神を満ち満ちた方法で表現するということです——出 25:31-34. 民 17:8. 啓 1:11-12. エペソ 5:9. 参照、ガラテヤ 5:22。

C. わたしたちは光の子供たちとして、愛と光の中を歩き、用意を整えて、キリストの栄光の花嫁となります。それは、命を与える霊がわたしたちを聖化し、言葉の中の水の洗いによってわたしたちを清めることによってです——エペソ 5:2, 8, 18, 26-27。

VII. エペソ第 6 章が啓示しているのは、キリストのからだは三一の神の団体の戦士であり、神の敵を打ち破るということです：

A. 霊的戦いは、個人的な事柄ではなく、からだの事柄です。からだとしての召会は、団体の戦士です。団体の戦士だけが、神のすべての武具を身に着けることができます——エペソ 6:10-20. 参照、マタイ 16:18。

B. すべての戦いは、サタンの意志と神のみこころ（意志）との間の衝突をその源とし

ます。わたしたちは苦難を通して、自分の意志がキリストによって征服され造り変えられるようにしなければなりません。それによってわたしたちの意志は、キリストの頭首権へと服従させられて、神のみこころ（意志）を選択し、復活の中でキリストの防衛する力を豊かに持つようになります——イザヤ 14:12-14. マタイ 6:10. 26:42. ピリピ 2:13. 雅 4:1, 4. 7:4 前半, 5。

- C. 祈りは、唯一の、極めて重要な、不可欠な手段であり、それによってわたしたちは神のすべての武具を適用し、神の武具のあらゆるものを使用できるようにします——エペソ 6:18。
- D. わたしたちが霊的な戦いを戦うのは、主（子なる神）の中で力づけられ、父なる神のすべての武具を身に着け、その霊の剣を用いることによってです。これは、霊的な戦いの中でさえ、わたしたちが三一の神を経験し、享受するという事です——エペソ 6:10-11, 17-18。